川崎市議会議員
本間賢次郎 ケンジロウ
市政レポート No. 60（令和４年12月号）
未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ
事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

12月のご挨拶



年内最後となる定例会が11月28日より開会し、会期末は今月22日となります。

新型コロナウイルス感染症の流行第８波を迎えている中ですが、今秋は、かわさき市民祭りはじめ、さまざまな行事、イベントが街中に戻ってきました。まだまだ模索段階ではありますが、ウィズ・コロナ時代の賑わいのある、活力を感じられる街づくりに、取り組んで参ります。

また、物価高騰への対応にスピード感が求められており、引き続き緊張感を持って、諸課題に臨んで参ります。

白杖利用者の安全確保へ、６月議会の一般質問での要望が実現！

今年６月に行われた第３回定例会の一般質問において、**本間ケンジロウ**は、白杖利用者の安全確保の取り組みの一つとして、JR川崎駅中央東口での点字ブロックの設置位置について質疑し、エスカレーター乗降口に注意を促す点字ブロックの設置を要望しました。

当質問・要望に至った背景には、白杖利用者の方や支援される方からご相談があり、実際に現地を確認したところ、アゼリア地下街と地上階とを結ぶエスカレーターの地上階には点字ブロックが設置されていたものの、同エスカレーターの地下街側や中央東口自由通路と改札階とを結ぶエスカレーターの中央東口自由通路側と改札階側それぞれの乗降口に点字ブロックが設置されていないことが確認できたため、なぜ、このように整備

が統一されていないのか行政当局に確認し、今後は統一した整備が必要ではないかとの旨を提言致しました。これに対し、バリアフリー新法の施行後に整備されたアゼリア地下街と地上階とを結ぶエスカレーターの地上階部分（平成 23 年に再整備）には点字ブロックを設置したとの答弁があり、さらに、今後は同法の趣旨に基づき、点字ブロックの設置されていないエスカレーターの乗降口の手前に設置に向けて調整をする旨を答弁しました。

その後、関係部局による調整・検討がなされ、11 月に中央東口自由通路と改札階とを結ぶエスカレーターの双方の乗降口に注意を促す点字ブロックの設置が完了致しました。









→11 月に整備された JR 川崎駅中央東口エスカレーターの各乗降口
←6 月議会での質問前のエスカレーター乗降口

地下街のエスカレーターの乗降口については、川崎アゼリア株式会社の判断を要するため、議場での答弁では、同社へ設置に向けた要望を行うとし、現在、市の担当部署より、同社への要望を行っているところです。

今後も誰もが安全で快適、安心して通行できる環境づくりに向けて、取り組んで参ります。